

まちづくりの地域情報紙

e-NET 6500

We Are The One
ONE
みんなでひとつ

おめでとう20歳

夢をカタチに



情報紙 第119号 2025年 3月 1日

東近江市成人式 2025.1.12

編集・発行：永源寺地区まちづくり協議会 東近江市山上町 1316 番地 永源寺コミュニティセンター内
IP：050-5802-9336 <http://members.e-omi.ne.jp/e-net6500/> E-mail：e-net6500@e-omi.ne.jp

こんにちは保健師です 25

「こ・ま・ぎ・れ活動」のすすめ

【65歳以上の要介護者数は年々増加】

「顔は浮かぶのに名前が出てこない」「あれ・それ・これ」をよく使うようになったなど、思い当たりませんか。全国的には要介護認定の主な原因は認知症が最も多く、次いで脳血管疾患です。

認知症の危険因子は様々ですが、中でも福岡県久山町の住民調査によると糖尿病はアルツハイマー型認知症のリスクを2.1倍、血管性認知症の発症リスクを1.8倍も高めることが報告されています。

認知症の予防には何が有効なのでしょう。世界保健機関(WHO)のガイドラインでは適度な身体活動や禁煙、適正飲酒、バランスのとれた食事が重要とされており、特に運動は糖尿病が要因の認知機能低下のリスクを軽減できます。

【「こ・ま・ぎ・れ活動」で認知機能を維持】

福岡大学スポーツ科学部の檜垣教授の調査で平均年齢75歳の方を対象に4年間の追跡調査を行い、認知機能が維持できた群と低下した群を比較し、維持できた群の日常生活パターンを見ると「こ・ま・ぎ・れ活動」が多いことがわかりました。

例えば朝ウォーキングをしたり家事をすませたあとグラウンドゴルフや田畑の仕事をしたり、友人とおしゃべりしたりと多様な活動をすることで、周りから受ける刺激を多くし、五感を満たす潤いのある生活が認知機能の維持に大切です。

厚生労働省から発表された「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」では画面の前でじっと座りっぱなしの時間が長くなりすぎないことを推奨しています。座っている時間が長くなったら意識的に立ち上がって背伸びや簡単な体操など「こ・ま・ぎ・れ活動」を取り入れたメリハリのある日常生活を心がけましょう。

*月刊糖尿病ライフさかえ(日本糖尿病協会発行)2024年4月号 参考

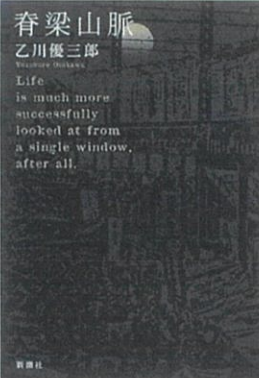
永源寺地域が登場する本・雑誌

永源寺図書館提供

『脊梁山脈』

乙川 優三郎 著／新潮社

戦後まもない頃の日本を舞台にした小説。上海から復員した矢田部信幸は、故郷に帰る列車の中で体調を崩したところ、小椋康造という木地師の男に助けられます。その後もう一度彼に会って礼がしたいと尋ね歩くなか、矢田部は木器の魅力にふれ、木地物の図録を作ろうと思い立ちます。二人の女性との恋愛を絡めながら、木地師の源流を辿る旅が美しい筆致で綴られています。



『近江山河抄』

白洲 正子 著／講談社

かつて日本全国の至る所に鉱山がありました。本書ではその中のひとつ、鈴鹿山系にあった御池鉱山が、「魅力ある遺構が残る銅山跡」として紹介されています。

明治から大正にかけて、滋賀県有数の銅鉱山として採掘が進められ、最盛期には200人もの従業員が働いていたそう。現在は鉱山施設跡や神社跡の石垣、校舎や社宅の跡地が残っており、豊富な写真とともに詳しく案内されています。



永源寺の四季を感じながら
心やすらぐひとときを
お過ごしください——



天麩羅和膳
1,980円(税込)
天ぷら・刺身・茶碗蒸し・
ごはん・みそ汁・香の物

平日17時以降入館の
お客様限定
ナイトプラン

入浴・食事が
セットになったお得なプラン！

まんぞく	入館料 + 2,860円までのお料理1品	2,860円 (税込)
なっとく	入館料 + 1,760円までのお料理1品	2,200円 (税込)
おでがる	入館料 + 1,100円までのお料理1品	1,760円 (税込)

ご予約は 0748-27-1126
永源寺温泉 八風の湯

0748-27-1126
https://www.happuno-yu.com/eigenji/ 八風の湯



地域の歴史再発見講座

宗務総長が大本山永源寺の歴史を講演



約40人が参加して行われた地域の歴史再発見講座

地域の歴史再発見講座が、1月25日、永源寺コミュニティセンターで行われました。

今回は、大本山永源寺宗務総長の横山玄秀さんが講師を務め「大本山永源寺の歴史」について話されました。

横山さんは、最初に禅宗のひとつである臨済宗の成り立ちや臨済宗が鎌倉時代に栄西により日本に伝えられ、幕府の庇護を受け広まっていたことなどに触れた後、永源寺を開かれた寂室元光禅師の生涯について話されました。

「寂室禅師が書かれた詩『山



講演する横山玄秀さん

居』の名利を求めず貧を憂えずにもあるように、晩年の寂室は大寺からの誘いを拒み、出世することなく永源寺を終焉の地にされた。高僧で知られ、禅師を慕う弟子たちにも恵まれた。あくまでも修行の寺として残していく思いを伝えられ、今も開祖の禅風を守っている」と強調されました。

また、永源寺は、京都の天竜寺や建仁寺など、全国に15ある臨済宗本山と同じく格式高いお寺であることや、4度の大火で建物が焼失しており寂室禅師が書かれた書物も消失しているものもあり、「残っていたら重要文化財ももっと多くあったであろう」と指摘されました。

最後に、中興の祖と知られる江戸時代の名僧一糸文守禅師のことにも触れられ、講演を締めくくられました。

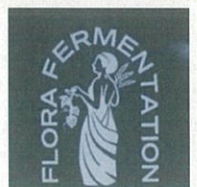
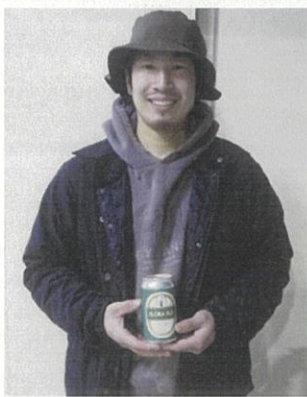
フロー ファーメンテーション

昨年11月から本格稼働しているクラフトビールの醸造所、フローファーマンテーションが、永源寺産のホップを使用した滋賀県限定の缶ビール「FLORA ALE」を3月から発売されることになり、その準備に追われています。

社長の大西康平さんは、「缶ビールとして販売することは、多くの消費者に



社長の大西康平さんとお洒落なパールのFLORA ALE



永源寺産ホップを使用 缶ビールいよいよ発売



施設内に並ぶ醸造タンク、手前が缶詰機

味わっていたくためにも欠かせないもので、目標のひとつでした。クラフトビールは、一般のビールと比べ2〜3倍の価格設定が通常です。少し高めですが、地元永源寺で栽培したホップの香りを感じながら、気軽に飲んでいただきたいです」と話されました。

近くでは、山上町の大榎屋さんで取り扱われるそうですので、是非ともご賞味ください。

東近江市制20周年



e-net6500で振り返る20年の歩み

(平成 17 年)

- 2月 東近江市誕生（1市4町が合併）
- 6月 e-net6500 創刊
- 9月 永源寺地区まちづくり協議会が設立
- 11月 市原土地改良事業が完工
- 12月 東近江大橋が開通

(平成 19 年)

- 3月 東近江市の花・木を選定
- 有線放送が閉局
- 木地師やまのこの家が完成
- 7月 鈴鹿の里コミュニティセンター開設
- 8月 日野東部広域農道が開通
- 10月 井伊直興の墓が国の史跡に指定

(平成 21 年)

- 3月 政所小学校が閉校
- 4月 学童保育所「永源寺こどもの家」移転
- 6月 やまびこの家がオープン

(平成 23 年)

- 3月 東日本大震災が発生
- 永源寺支所が産業会館に移転
- 甲津畑小学校が閉校
- 国道 421 号石樽トンネルが開通
- 4月 東近江市商工会が発足
- 10月 永源寺庁舎お別れの集いを開催

(平成 25 年)

- 2月 東近江市長に小椋正清氏が就任
- 6月 愛知川清流会が発足
- 11月 センター永源寺が閉館

(平成 27 年)

- 1月 日本ラチーノ学院が開校
- 2月 東近江市市民憲章を制定
- 4月 永源寺八風の湯に宿泊施設が完成
- 9月 鈴鹿 10 座を選定
- 10月 道の駅奥永源寺溪流の里がオープン

2005

2006

2007

2008

2009

2010

2011

2012

2013

2014

2015



(平成 18 年)

- 1月 豪雪 奥永源寺で2m超えの積雪
- 2月 新・東近江市誕生（1市2町が合併）
- 4月 第1回干草街道を往くを開催
- 11月 大本山永源寺でライトアップ始める
- 永源寺福祉の会が設立
- 12月 青野町が誕生
- 東近江スマイルネットが開局

(平成 20 年)

- 4月 永源寺診療所が指定管理で運営
- 永源寺地区まちづくり計画を策定
- 7月 永源寺温泉「八風の湯」オープン

(平成 22 年)

- 2月 少年野球チーム「永源寺リトルスターズ」誕生
- 6月 相谷熊原遺跡から国内最古級の土偶発見 現地説明会開催

(平成 24 年)

- 1月 生活支援サポーター「絆」が設立
- 9月 政所茶レンジャーが設立

(平成 26 年)

- 3月 永源寺コミュニティセンターが開所
- 4月 永源寺コミュニティセンターのまち協による指定管理スタート
- 11月 奥永源寺溪流の里が道の駅に登録





(平成 28 年)

- 7 月 全国初 おむつ宅配便スタート
- 10 月 国道 421 号佐目子谷橋が開通

(平成 29 年)

- 4 月 日本遺産「琵琶湖とその水辺景観」に「永源寺と奥永源寺の山村景観」が追加認定
政所茶生産振興会が設立
- 6 月 「SEA TO SUMMIT びわ湖東近江大会」が初開催
- 11 月 自動運転サービスの実証実験が始まる

(平成 30 年)

- 4 月 ももクロ春の一大事 2018in 東近江市を開催
- 9 月 鈴鹿 10 座エコツアーガイドクラブが設立
猛威ふるった台風 強風により被害続出

(平成 31 年・令和元年)

- 5 月 改元 平成から令和へ
「小椋谷」が林業遺産に認定
- 7 月 旧政所小学校がダンススクールに生まれ変わる

(令和 2 年)

- 3 月 新型コロナウイルス感染症の影響で小中学校が休校
永源寺幼稚園・市原幼稚園、もみじ保育園が閉園
- 4 月 永源寺もみじ幼児園が開園
- 10 月 茨川の天照神社が遷宮

(令和 3 年)

- 4 月 全国で 2 か所目 自動運転サービスが本格運行
- 7 月 新型コロナウイルスワクチン接種が始まる

(令和 4 年)

- 1 月 e-net6500 が 100 号を迎える
- 4 月 市道山上上二俣線改良工事が完成
市内初のラウンドアバウト開通
- 5 月 新しい永源寺診療所オープン
- 6 月 全国植樹祭が開催 市原にこにこの森で記念植樹
- 12 月 市原小学校創立 150 周年記念式典

(令和 5 年)

- 5 月 新型コロナウイルス感染症が「5 類」へ移行
- 10 月 飛び出し坊や生誕 50 年

(令和 6 年)

- 1 月 メジャーリーガー大谷翔平選手からグローブ届く
- 3 月 山上小学校が創立 150 周年迎える
- 4 月 新生近江鉄道が出発
180 万年前の化石樹が再び出土
屋外展示場が完成
- 8 月 永源寺中学校大規模改修工事が起工
コストコ東近江倉庫店が開業

(令和 7 年)

- 2 月 東近江市市制施行 20 周年記念式典を挙行政



クローズ
アップ☆

弥治郎伝統こけし

筒井神社で初挽き奉納



轆轤を廻して、こけしに絵付けをする佐藤秀雄さん

山里に初雪が降った12月8日、蛭谷町の筒井神社で国の伝統的工芸品に指定されている弥治郎こけしの初挽き奉納が行われました。

弥治郎こけしの産地、宮城県白石市には、昭和32年に筒井神社から分祀された小野宮惟喬親王神社があり、こけし神社の愛称で慕われています。当社では、毎年1月2日に商売繁盛などを願い、その年初のこけしを制作して奉納する「初挽き」が行われています。

この日は、宮城県白石市からこけし職人や行政関係者など13人が訪問され、地元氏子や



奉納されたこけし

関係者らが見守る中、弥治郎こけし組合専務理事の佐藤秀雄さんが轆轤を廻しながら鉋や紙やすりで頭や胴体を削り磨き、筆で絵付けをして高さ約24センチメートルのこけし11体を制作、奉納されました。初挽きを行った佐藤さんは、「本家の筒井神社で初挽きして奉納するのが、長年の夢でした。遠い地ですので一生に一度のこと。夢がかなって嬉しい」と感謝の言葉を述べられました。

氏子でもある小椋正清市長は、「ものづくりや木の文化という共通のテーマで、日本の歴史文化、伝統を後世にしっかりと伝えていく役割を背負っていると改めて感じた。白石市と東近江市の絆も深まった。さらに木の文化、木地師文化を通じて、全国的にネットワークを広げていきたい」と話されていました。

●伝統こけしと弥治郎こけし

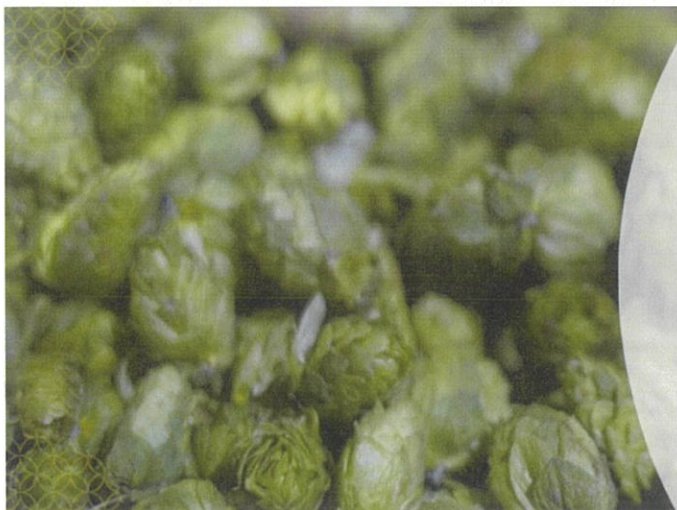
こけしは、子どもの玩具、おしゃぶりとして明治のころに制作され、東北地方にだけ生まれ育ちました。

伝統こけしとは、形や描彩が親から子へ、師から弟子に受け継がれたものだけをいい、概ね次の10系統があるといわれています。津軽系（青森県）、木地山系（秋田県）、南部系（岩手県）、鳴子系・遠刈田系・弥治郎系（宮城県）、作並系・蔵王系・肘折系（山形県）、土湯系（福島県）。

弥治郎こけしの特徴は、頭が大きく、頭の頂部に豊かな色彩の轆轤線がベレー帽のように描かれているところにあります。また、胴部は着物の柄を描き、轆轤模様や花と轆轤模様を組み合わせたものなどがあります。



弥治郎系こけし（右端は鳴子系こけし）



永源寺産ホップ使用 滋賀県限定ビール



@FLORA FERMENTATION

2025年3月販売予定

まちの話題



歳末の友愛訪問に 丹精込めたアユの煮付け届ける



12月28日、愛知川清流会では、友愛訪問でお届けするアユの煮付け料理を永源寺コミュニティセンターで調理されました。

75歳以上のひとり暮らしの方に、新たな年を住み慣れた地域で健やかに迎えていただこうと、永源寺福祉の会では歳末の事業として、毎年おせち料理を届けられています。数年前からは、清流会が煮付したアユのパック詰めも添えられており、「たいへん美味しい」と喜ばれています。この日は、昔ながらの炊き方で煮付けし、お届けする127人分を仕上げられました。



12年間の実績と今後の政策訴え 小椋正清氏、市長選4選を果たす



2月2日に投開票が行われた東近江市長選挙で、永源寺出身で現職の小椋正清氏が4選を果たされました。

選挙戦で小椋氏は、医療機関の整備や近江鉄道の再生、企業誘致やインフラ整備など、3期12年間の実績を強調。争点となった森の文化博物館については、「総合政策として取り組むことで、環境、防災、福祉、教育、農林水産業の振興につなげ、愛知川の清流を取り戻す」と理解を求められました。

投票率は、40.72%で過去最低。永源寺地区の投票率は50.14%で、地区別では唯一50%超えとなりました。

子どもスポーツチャレンジ 「ネットでポンポイ」で盛り上がる



1月11日、永源寺体育館で子どもスポーツチャレンジが開催されました。地区内のスポーツ少年団に所属する小学生や保護者がスポーツを通じて交流の輪を広げようと開催されたもので、今秋開催される第79回国民スポーツ大会のデモンストレーション種目「ネットでポンポイ」を体験。この競技は、東近江市発祥のニュースポーツで、専用のネットを用いてバレーボールのようにボールを相手のコートに打ち返すものです。参加された40人は、ほかに「スカットボール」「全員リレー」も体験し、子どもから大人まで大いに盛り上がりしました。

滋賀県ディスコン大会で 運も味方、永源寺チーム見事優勝



1月18日、くさつ YMIT アリーナで「第17回滋賀県ディスコン競技大会」が開催され、永源寺チームが見事優勝されました。15チームの参加で競技が進められ、チームは幸運も味方につけ、とてもラッキーな結果となりました。ディスコンは赤と青の2チームに分かれて1チームが6枚のディスク（円盤）を投げ、どちらがポイントに近づいているかを競うスポーツで、初めての方や年齢を問わず誰でも楽しめます。永源寺体育館で毎週木曜日、午前10時～11時まで練習しています。一緒に楽しみませんか。気楽にのぞいてみてください。左から今若眞智子さん、端美代子さん、鵜飼啓子さん。



新成人の抱負と決意

成人式を無事に迎えられ感謝とともに、心から嬉しく思います。わたしが成人式を迎えられたのは、家族、友人、地域の方々の支えがあったからだと思います。

20歳を迎えるにあたり、「責任持った決断と誠実さ、何事にも感謝を忘れない」この言葉を念頭に置き、人として人間性を成長させたいです。また、今までお世話になった方々に恩返し出来るよう立派な医療者となり、社会貢献したいです。



山口楽人さん (山上)

20年間、多くの人に支えられて生きてきたのを成人式を迎えて改めて実感しました。

大好きな友人たちと成人を迎えられたことは、この先の人生において大きな意味を持つと思います。

さまざまな方から愛情を受けたように、わたしもいろんな人に愛情を注げる自立した人間になりたいです。



岡田昇磨さん (山上)

家族や友人と無事成人式を迎えることができ、たいへん嬉しく思います。

わたしがこの日を迎えることができたのは、今まで支えてくれた家族や大切な友人など、これまでに出会った方々の存在があったことだと思います。

家族やお世話になった方々に感謝し、恩返し出来るように頑張りたいです。今後は、後悔のない決断をし、挑戦することを止めず「挑戦」と「決断」の言葉を大切にしていきたいです。



山口想太さん (山上)

僕たちの代は丁度18歳のときに成人年齢が引き下げられた年なので、成人している実感が無かったままでしたが、本日成人式を迎えることで、しっかりと成人した自覚が湧いてきました。

周りの方々に数え切れない手助けをして頂いたことを忘れず感謝し、驕らず、社会人の一員として頑張っていきたいです。

ほんとに皆様ありがとうございました。



門脇天誠さん (青野)

編・集・後・記

昨年は、オリンピックやメジャーリーグなどスポーツ選手の活躍が多く報じられました。この春、メジャーリーグ開幕戦が日本で開催されます。そして大谷選手の二刀流復活とドジャースの連覇も期待されています。海外での日本人選手の試合がテレビやネット放送で普通に見られる時代になり楽しみでもあります。●一方、日本では喜ばしいことばかりではありません。能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報が発令されるなど、迫る自然災害の脅威は常に私たちの身近にあります。また阪神淡路大震災から30年が経ち、その教訓を風化させないことが大切です。●2025年の社会的な面では、個人企業でも直面する期限の問題もあります。Windows 10のサポート終了やマイナンバーカードと健康保険証の統合など、私たちが普段使っているITや行政サービスにも大きな変化が訪れます。もう準備は済ませたという方もいらっしゃるかも知れませんが、日頃から情報収集を行い、必要な準備を進めていくことが重要です。●自然環境も社会も常に変化し続けています。私たちが取り巻く環境は、わずか数年で大きく様変わりすることもあります。変化を恐れず、私たち一人ひとりが『備え』としてできることを考えていきたいものです。(と)